

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2024年 3月 28日

事業所名：さくらスマイルキッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令を尊守したスペースは確保できている	明るく、清潔。	法令を尊守し、尚且つ安全なスペースを確保していく。
	2 職員の適切な配置	人員配置は確保できている。看護師、保育士を追加し、配置している。	安全を確保してくださっているので、問題ない	安全を確保できるような人員配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	完全バリアフリー化出来ている。	バリアフリーで一人一人のスペースも確保されている。	引き続き、設備整備していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	施設内の清掃の徹底、感染症対策として、消毒の徹底を行なっている。	明るく、清潔な部屋。	引き続き、徹底して行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	当日の活動内容の確認を実施。利用者や保護者からの情報は、必ず職員全員で共有し、必要時話し合いにて検討する。		適宜、カンファレンスを行い、問題の早期発見、早期対応ができる環境を作る。サービスの質の向上に務める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	相談員や訪問看護師、学校職員等の関係機関と連携。情報を共有して、業務の改善につなげる。		今後も、関係機関との連携を図っていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修への積極的な参加。施設内でも、積極的に研修の情報を提示している。		今後も、継続して行っていく
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児童及びご家族への面談を行ない、内容を計画に反映させている。		今後も、児童本人の意思を尊重し、ご家族の思いも大事に計画立案していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	児童の発達特性や家庭環境等を踏まえた計画の作成を行っている。その日の体調を考慮しながら、活動内容を選択している。	・子どものことをよく考えてくださっている。	今後も、児童および家族の状況にあわせながら、作成していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児童の疾患、特性、希望等を考慮しながら、設定し、支援内容を具体的に、個別支援計画書に記載している。	児童の変化に合わせ、柔軟に対応できるように、支援内容を適宜、評価修正していく。	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童及び家族の要望を反映した計画の立案。それに基づき、全職員が支援を実施している。	・季節に応じた制作やイベントを企画して下さって ・季節の行事もして下さり、毎回とてもたのしそう	今後も、本人及び家族が要望を言いやすい関係性の構築に努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	可能な限り、全職員で話し合って計画に基づいた活動内容を、決めている。		今後も、職員の質の向上に努め、よりよい活動が提供できるようにしていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	家族からの要望に関して、出来る範囲で対応している。	・季節ごとにイベントがあったり、日々のプログラムも色々と充実した活動内容になっています。	今後も、家族の負担軽減につながるよう支援していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節を感じるような活動を組み込むことにより、固定化しない工夫をしている。		今後も、季節を感じる活動をたくさん取り入れていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員間で一日の流れを共有している。サービス中も、職員同士、声を掛け合う事を意識して行っている。		今後も、継続して行っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	適宜、その日の振り返りを行い、必要時、検討会を開催する。		今後も、継続して行っていく。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動日誌の記載。その内容を職員間で共有を行なう。また、必要時、対応策の検討会を開催する。		今後も、継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	六ヶ月をめぐりに、モニタリングを行なっている。が、児童や家族に変化が見られた場合、その都度行なっている。	児童の成長や変化、また家族の変化に合わせたモニタリングを今後も、行っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者または児童発達管理責任者が参加している。状況により、担当者が詳しい場合、担当者が参加している。	今後も、関係機関とよりよい連携が取れるよう努める。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	主治医の医療的ケアに関する指示書に基づきケアを行なっている。また、在宅関係機関とも連携を図り、より在宅に近いケアの提供に努めている。学校との連携も深めていく。	今後も、地域や医療、障害福祉、教育等の関係機関との連携を深めていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	緊急連絡先、主治医連絡先など、記録、整備している。	全職員が、緊急連絡先を周知できるよう今後も、継続していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校等との情報共有に努めている。	今後も、より深い連携になるよう努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者がいない為、実施できていない。	今後、該当者があった場合、関係機関との情報共有を図り、円滑に連携が図れるよう努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関が実施している研修に、積極的な参加を斡旋している。	今後も、引き続き行っていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	認定こども園の園庭開放の利用や児童館を利用した活動を行った。	・障害のない子供との活動する機会があれば嬉しい。 ・希望していない ・公園にたくさん連れて行ってくれている。それで充分満足している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	施設を開放し、地域との交流を図った。		今後、地域と交流できるようなイベントの企画を考えていく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	一つ一つ丁寧な説明、対応を心掛けている。	・連絡帳並びに口頭の両方で伝えてきた さっている。 ・利用の最初にしっかり丁寧に説明を受け ました。	今後も、丁寧な対応を心掛けていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	できるだけ、面談し説明を行なっている。		今後も、継続して行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施できていない。	・職員とコミュニケーションが取れているので、問題ありません。	今後も、相談いただけるような関係性の構築に努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートでの情報の共有や、送迎時、その日の状況の報告を密に行っている。	・送迎時にいつも、職員とお話しさせて 頂いている。	家族との報告・連絡・相談を今後も継続して、徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合、職員間での情報共有を行ない、必要時、関係機関への相談を検討している。	・いつも、こちらの声に耳を傾けてくださっています。	今後も、相談して頂ける関係性を構築すると共に、関係機関とも連携を図っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施できていない。	・必要としていない。 ・利用している児の家族が集まれる機会があると嬉しい。	今後、状況を見ながら、開催を検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速かつ丁寧な対応を心掛けている。	・経験がないので分からない。 ・苦情などないが、何かあれば、すぐにお話しできる体制になっている。 ・苦情を申し入れたことはない。日々、要望や質問には、迅速に丁寧に対応して下さっている。	今後も、苦情等があった場合、真摯に受け止め、迅速に対応する。再発が無いよう指導を行なっていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児童個人の特性に合わせた方法を選択し、個別支援計画に反映させ、実施している。	・配慮されています。	今後も、継続して行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	LINE等を利用し、情報を発信している。		今後も、継続して行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	重要事項説明書に基づき、適切に取り扱っている。		今後も、徹底した情報管理に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの策定を行ない、周知・徹底に努めている。		今後も、マニュアルは、状況に合わせて評価修正し、時代に合ったものにして行く。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難所の周知、緊急時の対応について、周知し、訓練している。		今後も、定期的に行い、その都度、マニュアルの修正に努める。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的な研修の開催。職員同士のコミュニケーションを図るよう努めている。		今後も、委員会を中心に虐待の防止に努める。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の事案はない。		今後も、事案が出ないようサービスの質を向上していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者なし。		該当者がいる場合、主治医の指示書に基づく対応を行なう。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合、その日のうちに事例検討を実施している。		今後も、継続して行く。